

実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* (No. N-53)
「実践女子大生のスマホケース」に関する調査

実践女子大学人間社会学部・実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に「女子大生のスマホケース」について、写真観察を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（篠崎香織）」、「マーケティング（斎藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、自分たちの消費活動、ライフスタイルをはじめ「実践女子大生が自分たち自身」を科学する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

現在、ほぼ 100%の女子大生がスマートフォンを利用しているが、女子大生がどのようなケースを利用し、何に重点を置いて選び購入しているのか、またどこで購入しているのか、女子大生は Android と iPhone どちらの利用率の方が高いのかに焦点をあて調査・分析を行った。

その結果、実践女子大生は、スマートフォンのケースを自分の好みに合わせて使っていることがわかった。ケース自体のデザイン性の良さを追求する場合だけでなく、シールやストラップなどを用いて好きなようにアレンジして使っている場合も見られた。また、手帳型のケースは全体の3割ほどで、ほとんどが非手帳型であった。その中でも、「iFace」シリーズはとても人気があった。また、かわいさやおしゃれさだけでなく、利便性も考え、定期券やコンサートのチケットなどをケースに挟んでいる人もいた。

調査結果のポイント

(1) 手帳型を使っている人は非手帳型より少ない

手帳型ケースを使っている人は全体の約 3 割で、非手帳型のほうがやや多い結果となった。また中には、ディズニーモバイル製品など、スマートフォン本体と手帳型ケースが一体となったデザインのものも見られた。

(2) キャラクターものを使っている人が多かった

iPhone、Android に関わらず、ディズニーキャラクターのケースが人気であった。他にもキャラクターもののケースを持っている人もいたが、ディズニーデザインのものが多いと見られた。

(3) iFace シリーズが人気

iPhone のケースで有名な iFace シリーズを使っている人が多く見られた。単色のものからキャラクターものまで使っている人が多く、特有のカーブを描いた形状による持ちやすさだけでなく、デザインが豊富なことも人気の理由だと考えられる。

(4) クリアケースが人気

スマートフォンの裏側が透けて見える透明タイプのケースを持っている人が多かった。デザインに注目すると、特に、無色透明の背景にキャラクターなどのイラストがプリントされているものが多く見られた。一方、背景が色付きの半透明になっているデザインのものも少数あった。

(5) 透明ケースにシールや定期券を挟む人も

透明のケースにシールなどをはさみ、自分の好きなデザインのケースを作っている人が少数見られた。中には、コンサートのチケットや定期券、証明写真などを挟んでいる人もおり、普段欠かさず持ち歩くスマートフォンを、忘れもの防止のための収納スペースとして使っている場合も見られた。

(6) ケースをつけない派は少数

少数ではあったが、スマートフォンにケースをつけておらず、そのまま持ち歩いている人も見られた。中には、ケースはつけていないが、本体に直接バンカーリングをつけている人もいた。

(7) バンカーリングやストラップをつけている人も

スマートフォンを操作する際に指にはめて持ちやすくするバンカーリングや、ストラップなどの、後からケースにつけられる小物をつけている人も見られた。

(8) ブランド物は少数であった。

ブランドもののケースを使っている人は少数であった。ルイヴィトンなどの高価なファッションブランドのケースを使っている人も見られた一方、アディダスのようなスポーツブランドのものを使っている人もいた。

調査概要

- 調査対象：実践女子大学生 1～4 年生、108 人
- 調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- 調査期間：2017 年 10 月 24 日～11 月 3 日
- 調査場所：実践女子大学渋谷キャンパス
- 回答者の属性：実践女子大学生 1～4 年 100%
- 調査目的：実践女子大学生のスマホケースのトレンドを見るため、所有しているスマホについて調査を行った。
- 調査主体および本調査担当：実践「ペルソナ」研究会
 - 調査員：伊藤沙耶佳、折茂美玖、兼子千穂
- 調査仮説：
 - ① iPhone ユーザーの iFace 利用率が高い
 - ② 利便性を重要視してケースを選んでいる
 - ③ 手帳型ケースの利用者は定期を収納している
 - ④ Android より iPhone 利用者のほうが多い
 - ⑤ 家電量販店でケースを購入する人が多い以上 5 つとする。

調査結果

調査で得られた写真資料から、女子大生の持っているスマホケースを以下のように種類別に分けることができた。

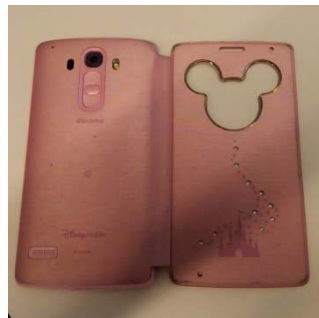
【iFace シリーズ】



【クリアケース】



【手帳型】



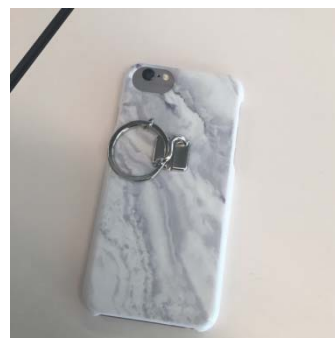
【キャラクターケース】



【ブランド】



【バンカーリング】



【ケースなし】



実践女子大生のスマートフォンケースの傾向を調査したところ、手帳型を持っている学生は 3 割程度で、学生の多くは非手帳型のケースを持っていることがわかった。非手帳型では、iPhone ユーザーでは iFace シリーズを持っている人が多かった。このシリーズは側面中央がカーブを描いているため持ちやすいということに加え、単色だけでなくキャラクターとコラボしたデザインのものもあり、実践女子大生は利便性とデザイン性を重視してケースを選んでいると考えられる。

またスマートフォンケースにかかる費用については、ブランドものが非常に少なかったことや比較的安価なクリアタイプのケースを使っている人が多かったことから、手頃な価格のものが選ばれやすいと考えられる。

デザイン面では、iPhone、Android 共にキャラクターものが非常に多かったが、中でも、ディズニーキャラクターのものが特に多かった。また、クリアケースを使っている人はケースの中にシールや紙などを挟み込み、自分の好みに合わせてアレンジしているものも見られた。加えて、ケースをチケットなどの収納スペースとして使っている人もいた。

以上から、実践女子大生はスマートフォンケースを選ぶ際にはデザイン性だけでなく、利便性、価格の手頃さを重視していると考えられる。またスマートフォンは多くの人々が普段持ち歩いているため、本来の用途である保護する機能だけでなく、貴重品を収納するスペースとしても活用され始めている。